

# 駒澤大学のFD

米津 光治

(教育学部准教授・教育研究所研修部主任)

1998年10月26日付で出された大学審議会の答申「21世紀の大学像と今後の改革方針について－競争的環境の中で個性が輝く大学－」において、「厳格な成績評価の実施と教育評価の実施の必要性」が謳われ、課題追求型の人材を育成する大学教育の在り方が提言された。大学の教育力・授業力が問われるようになり、駒澤大学では、2004年度から「駒澤大学FD推進委員会」を組織し、FDを『教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組み』と定義づけ、全学的にさまざまなFD活動が行われている。

以下その取り組みを紹介する。

## 1 組織

大学及び短期大学に「FD推進委員会」を設置する。推進委員会は、以下の事項を審議する。

- ① 授業評価の実施に係る企画・運営に関する事。
- ② 教員の教授方法等の改善のための支援に関する事。
- ③ 各学部等が行うFDの支援に関する事。
- ④ FDに係る、施設・設備等の改善に関する事。
- ⑤ 講演会及び研修会等に関する事。
- ⑥ その他FDの推進に必要な事項に関する事。

## 2 推進委員会の構成

- ① 学長（委員長）
- ② 副学長（副委員長）
- ③ 各学部長等（7学部及び短期大学・総合教育研究所長を含め計9名）
- ④ 各学部から選出された者各1名。ただし、総合教育研究部は3人 計11人
- ⑤ 教務部長
- ⑥ 幹事（総合企画室長、総合企画室企画課長、教務部学務課長、教務部教務課長）

### 3 推進委員会の運営

- ① 推進委員会は、委員長が召集し、その議長となる。
- ② 推進委員会が必要と認めるときは、小委員会を設置する。

※平成18年度は10名の小委員会を設置した。委員は各学部から選出された推進委員が兼務した。

③ 各学部等に「FD推進部会」を設置する。部会長は各学部長等とし、構成員については各学部等で決める。

- ④ 推進委員会の事務所管は、総合企画室が行う。

### 4 平成18年度の活動内容

#### (1) FD推進委員会

年2回開催した。その内容は以下のとおり。

【第1回】平成18年5月9日

- 議題：1 規程改正について
- 2 平成18年度実施計画について
- ア 各学部等のFD推進部会の活性化
- イ シラバスの改善
- 3 学生による授業アンケート用紙集計後の原票の廃棄

について

【第2回】平成19年2月20日

- 議題：1 小委員会での審議結果に基づく今後の課題について

#### (2) 小委員会

年7回開催した。その内容は以下のとおり。

【第1回】平成18年5月9日（推進委員会開催後）

- 議題：1 平成18年度学生による授業アンケートについて
- 2 FD NEWSLETTERについて

【第2回】平成18年6月9日

- 議題：1 「授業アンケート」対象科目未申告者の扱いについて
- 2 授業アンケート結果のフォーマットについて
- 3 平成18年度以降の活動計画について

【第3回】平成18年7月3日

議題： I 報告事項

- ① 授業アンケート（前期）
- ② F D NEWSLETTER 第7号

II 審議事項

- ① 授業アンケート（後期）結果表の様式について
- ② 公開授業について
- ③ 研修会について
- ④ シラバスについて

【第4回】平成18年9月26日

議題： I 報告事項

- ① FD NEWSLETTER 第8号 編集状況について
- ② 後期授業アンケート実施スケジュール
- ③ 公開授業について学長への依頼の件

II 審議事項

- ① 研修会について
- ② 公開授業について
- ③ シラバスについて
- ④ 授業アンケート（後期）結果表について

【第5回】平成18年10月24日

議題： I 報告事項

- ① 授業アンケート準備状況
- ② F D NEWSLETTER 第8号 進捗状況

II 審議事項

- ① 公開授業について
- ② 研修会について
- ③ 授業アンケート実施体制について

【第6回】平成18年12月4日

議題： I 報告事項

- ① 学生による授業アンケート
- ② 研修会
- ③ 公開授業

II 審議事項

平成18年度活動の検証と今後の課題

【第7回】平成19年1月25日

議題：Ⅰ 報告事項

相互評価の結果報告

Ⅱ 審議事項

① 平成18年度FD活動と今後の課題

② 平成18年度FD活動報告書及び「学生による授業ア

ンケート」報告書の作成について

(3) 研修会

FD活動の一環として、教職員を対象に、FD活動に早くから積極的に取り組んでいる国際基督教大学（ICU）のFD主任を講師として招き、以下のとおり研修会が実施された。本学にとっても参考になると思われるので、研修会の内容を掲載する。

日 時：平成18年11月20日

テーマ：「ICUにおけるFD活動の現在と今後の展望」

講 師：国際基督教大学国際関係学科教授 FD主任 ショウン・マラーニー

内 容：◆ICUにおけるFD活動の理論と実践

1) FDの目的とは、学生に質の高いリベラル・アーツ教育を提供するために、教員の質も向上するような活動を行うこと。

2) 教員の指導技術改善に役立つような支援を行う。

3) リベラル・アーツ教育の実践に関する最新情報をICUの教員に提供すること。

◆シラバスの活用

1) 教員は、各学期開始前に、学内ネットワーク上にシラバスを公開しなければならない。

2) FD事務室は、シラバス公開に係る一連の作業を扱う。

3) FD事務室と教養学部長は、シラバス改善のため、定期的に様式の見直しを行う。直近の例では、シラバスに学習目標を明記するよう改めた。

◆授業評価システム（TES：Teaching Effectiveness Survey授業効果調査）

1) FD事務室では教員の協力を得て、TESの質問項目を作成している。

2) TESはFD事務室で管理している。

3) 新任教員オリエンテーションにおいて、TESの説明を行っている。

4) TESの結果に関して、教員が何か支援を必要とする場合、FD事務室が協力する。

#### ◆教授法の開発

- 1) 新任教員は、着任時にリベラル・アーツ教育についてのオリエンテーションを受ける。
- 2) FDのウェブサイトは、教授方法や実践について説明しているサイトにリンクがはられている。
- 3) FD事務室は、教員が希望する様々な支援を提供する。
- 4) FD事務室は、よりよい教育活動に資するようなトレーニング・セミナーを実施している（例えば、授業における論文の書き方指導やEラーニング等を目的としてセミナーを実施）。
- 5) FD事務室は、教員同士の情報交換の場として「FDニュースレター」を発行し、教育活動に関する情報やそれぞれのクラスで実践されている授業内容等を紹介している。
- 6) FDライブラリーと称して、FDや教授法に関する書籍だけを収集し閲覧に供している。
- 7) FD事務室は、教員同士の貴重なコミュニケーションの場として教員フォーラムを開催する。

#### ◆教員の意識改革

- 1) オリエンテーションの場を通して、リベラル・アーツ教育の必要性についての意識・理解を推進している。
- 2) FD事務室では、定期的に重要トピックに関するセミナーを開催している。例えば、障害のある学生への教育・指導について、当該の学生も参加して教員との意見交換を行い、よりよい授業運営を模索するセミナーを実施している。

#### ◆他大学との交流

- 1) 日本国内外の大学からの訪問者に対して、ICUのFD活動を紹介している。
- 2) ICUのFD活動を紹介するウェブサイトを公開している。
- 3) 「FDニュースレター」を他大学に配布している。

#### ◆ICUのFDの体制・組織

- 1) ICUの学部は教養学部のみであり、FD事務室は学部長付きの組織として設けられ、常勤の専任職員1名、非常勤または兼任の職員4名、および学生アルバイトをあわせた程度の要員構成となっている。
- 2) FD委員会は、FD主任（マラーニー教授）と学部長補佐の他に、6

学科、体育、日本語教育および英語教育の各分野からそれぞれ1名の委員で構成される。

#### (4) 公開授業

異なる学問領域、異なる学生、異なる学年、異なる教員による工夫に富んだ授業に接し、その体験から得られるさまざまな発見を通して、今後の授業改善のためのヒントを得ることを目的として、「公開授業」を実施している。

平成18年度は、各学部等のFD推進部会の協力により、公開授業一覧を作成し、以下のとおり、4学部11科目の公開授業が行われた。

回／月日／曜日・時限／担当教員・科目名／（履修学生）・参加者

第1回／11月16日（木）／3時限／総合教育研究部・教授／英語ⅠB／（再履修）3人

第2回／11月16日（木）／4時限／総合教育研究部・教授／総合V／（全学部）3人

第3回／11月18日（土）／4時限／医療健康科学部・助教授／画像検査技術学基礎実習／（医療健康科学）1人

第4回／11月20日（月）／1時限／総合教育研究部・助教授／中国語ⅠB／（法学）4人

第5回／11月21日（火）／5時限／総合教育研究部・教授／マルチ・メディア／（全学部）5人

第6回／11月22日（水）／2時限／総合教育研究部・助教授／中国語ⅡB／（文学、経済、法学）5人

第7回／11月22日（火）／3時限／総合教育研究部・教授／マルチ・メディア（全学部）3人

第8回／11月25日（土）／2時限／総合教育研究部・助教授／中国語ⅠB／（文学）5人

第9回／11月28日（火）／2時限／グローバル・メディア・スタディーズ学部・教授／Oral CommunicationⅡ／（グローバル・メディア・スタディーズ）3人

第10回／11月28日（火）／5時限／文学部・教授／社会保障論／（文学）6人

第11回／12月4日（月）／2時限／グローバル・メディア・スタディーズ学部・非常勤講師／コンピュータワークショップ／（グローバル・メディア・スタディーズ）7人

参加の仕方は、参観希望の授業科目の時間に直接教場に行き、後方の席に着席し、当日、授業担当者からアンケート等の依頼があったらできるだけ協力するということを共通理解し実施した。

#### (5) 学生による授業アンケート

駒沢大学における「学生による授業アンケート」は、現在、その結果を当該教員本

人にのみ還元するという方針をとっている。授業アンケート結果として集計されたデータや学生の意見については、個々の教員が自分自身で授業改善に役立てるという用途に限定し、FD推進委員会ないし大学当局がそれを閲覧することはない。

なお、学部単位、学科単位での平均値（例えば学部・学科間の比較データ）等については、ホームページ等を通じての公開を実施している。

① 実施期間

下記の期間に、該当科目の授業時間中に実施した。

前期（前期終了科目対象）：平成18年6月19日（月）～6月24日（土）

後期（後期・通年科目対象）：平成18年11月8日（水）～11月14日（火）

② アンケート用紙の種類

- a. 講義科目
- b. 実験・実習科目
- c. 語学科目
- d. 保健体育実技科目

③ 対象科目数及び対象学生数

対象科目は、専任教員が担当する科目のうち、選択した2科目を対象とする。

前期 141科目 9,428人（延べ人数）

後期 1,030科目 100,329人（延べ人数）

④ 実施科目数及び回答数

前期 141科目（100%） 6,421人（68.1%）

後期 1,030科目（99.8%） 44,656人（44.5%）

⑤ 授業アンケートの課題

駒沢大学では、2004年度から授業アンケートを開始し、アンケートの結果は現在のところ、評定値の分布と平均値のみを各教員へフィードバックしている。

アンケート結果をどのように取り扱うか、教員へのフィードバックの方法と内容、さらに公開する場合の対象、範囲、内容等について、今後検討が必要な課題となっている。FD推進委員会では、当初からこれらの問題の重要性を認識してはいたが、まずは、諸活動を軌道に乗せることを優先的に行い、アンケート結果の扱いについては十分に検討するにはいたっていない。アンケート結果は、詳細に調べればそこから多くの情報が得られ、授業に効果的に活用できる可能性を含んでいると思われるが、今のところ各教員がそのような研究を行える状況にはなっていない。

授業アンケートの結果は、在学生や教職員への情報公開を推進させていくことはもちろん、大学のFDへの姿勢を示す指標として、あるいは大学自体に対する社会的評価

向上のため、受験生や社会に対しても発信していくことが求められる。今後の検討が課題となっている。

(6) 『F D NEWSLETTER』の発行

駒沢大学では、F D推進委員会が学内教職員向けに、『F D NEWSLETTER』を年4回発行している。これまでに、F Dの取り組み状況や今後の活動予定、授業アンケートの結果、F Dに関するQ & Aなどを掲載し、教員同士の情報交換やその啓発等を図っている。

平成18年度末までに10号を発行している。